

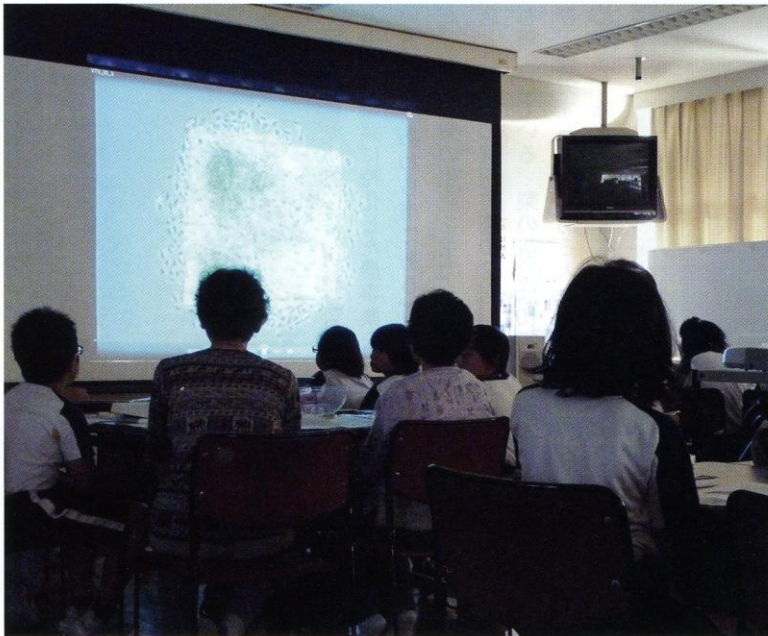


# 科学を通して 未来をつくる、世代をつなぐ



## 映画と科学実験のコラボレーション

ふくい科学学園の活動は、子どもたちが科学に興味をもって科学者や技術開発者に育ってもらいたい、また、健全に育ってほしいという想いから始まっている。



映画と科学実験の融合 (映画はつよい骨とよわい骨)

そのために、数々の実験教室や合宿を行ってきた。子どもたちも興味を持ってくれて、成果を上げてきたのだが、もう一つの大きな目的として掲げている「団塊の世代と児童をつなぐ」世代間交流事業が今一つ

しっくりこないと感じていた。そんな中、「映画と科学実験」という少し変わった組み合わせでスタートしたが、福井県の『新しい公共の場づくりモデル事業』(昭和の科学・文化短編映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動)と銘打った事業だ。これは福井市や坂井市の公民館で、高齢者と児童に15分程度の短編映画を楽しんでもらい、それにかかわる実験を行うというもので、その組み合わせがとても新鮮なるほどとびぎを打つものばかり

りなのだ。これまで行った内容は、映画『カルピス誕生』とカルピスを使った光の実験、映画『琴づくり50年』と振動と音の実験、映画『つよい骨とよわい骨』と手作り顕微鏡で観察の実験の3つで、短編映画のチョイスも素晴らしい、大人も子供も好奇心を満足させるもので、さらに実験は手作りの教材でこれまた飽きの来ないものになっている。この事業でやっと世代間交流の道筋というものが見えてきた。「これまでの子供に対する実験というものだけでなく、今の時代の課題解決が大きなテーマでしたので、やっと糸口が見えたような気がします」と理事長の香川さんは語る。

### 真の世代間交流の姿とは

しかし、反面、問題・課題も浮き彫りとなってきた。それは実験準備がとても大変なことだ。実験器具は手作りが多いので、参加人数が多ければ多いほどうれしいが、制作が間に合わないのだ。「これからは公民館を通じて、高齢者の方々に実験の器具を作ってもらい、子どもたちと一緒に映画と実験を楽しみたいという風になれば、高齢者の生きがいという点においても真の世代間

交流が果たせるのではないかと考えています。そうすればより安価なコストでいろいろな地域で開催も可能です」とこれからの姿も語る。

香川さんの生み出したこの事業、現在は福井市内の公民館2ヶ所、坂井市の公民館1ヶ所の計3ヶ所で行われる。各々3回の実験を行うのだが、そう遠くないうちに様々な地域で実を結ぶのではないだろうか。



世代を超えて科学実験は心弾ませる

**(特活)ふくい科学学園**  
 代表者 香川 喜一郎

**主な事業**

- 科学実験教室(AOSSA)
- 科学の楽しさを団塊世代と児童をつなぐ事業
- 野外の実験教室、1泊2日の合宿
- 教研集会講師
- 海外教育支援

**団体からのメッセージ**  
 科学ってこんなに楽しいを伝えたい

〒910-0804  
 福井県福井市高木中央2丁目3701-9  
 TEL (0776)53-3787  
 E-Mail h-kagawa@hb.tpl.jp  
 URL http://www.w01.tpl.jp/~a290031731